

第 6 表

府県別電気・主要都市別水道需給量

本表の電気に関する数字は各年度末現在における全国の電力会社からの「電気事業報告書」を集計したものであり、()
の数とは四国電力が住友共電へ供給した分を外数である。水道は埼玉県、千葉県以外は各都道府県庁所在地の市の上水道にかんす
るもので「普及率」とは年度末現在における計画給水区域内の戸数に関する給水戸数の割合をいう。

府 県 および都市	電		気			上 水 道 (昭和38年度)		
	電燈・電力消費量	電 燈 需 用 需用家数	消費電力量	電 力 需 用 契約口数	消費電力量	栓 数	給 水 量	普 及 率
	千KWH	#	千KWH	#	千KWH	千	㎡	%
昭 和 35 年	87 734 167	19 464 683	13 378 757	1 805 222	74 355 410	-	-	-
36	101 619 526	20 286 083	15 744 295	1 944 962	85 875 231	-	-	-
37	106 144 856	21 437 166	18 791 587	2 110 603	87 353 269	-	-	-
38	123 184 004	22 584 757	22 023 672	2 290 336	101 160 332	-	-	-
昭 和 39 年	138 793 185	23 894 928	25 300 798	2 466 457	113 492 387	-	-	-
北 海 道	5 104 605	1 022 252	993 185	80 938	4 111 420	111 331	34 037 798	61.2
青 森	1 318 498	314 609	257 693	26 695	1 060 805	28 407	6 395 936	81.0
岩 手	1 231 399	303 467	225 981	36 055	1 005 418	16 957	4 453 614	60.9
宮 城	1 183 414	387 995	324 791	54 355	858 623	64 058	16 953 633	59.9
秋 田	1 134 296	289 992	224 277	49 697	910 019	31 468	8 103 257	89.7
山 形	1 217 512	286 420	229 947	61 889	987 565	26 434	7 157 105	82.8
福 沢	3 656 663	428 783	343 020	54 869	3 313 643	19 921	5 898 110	70.0
茨 城	1 550 776	491 135	380 923	72 418	1 169 853	20 669	5 656 671	75.3
水 戸	1 273 869	366 042	296 542	63 070	977 327	25 727	8 197 653	56.9
群 馬	2 047 892	399 886	340 165	63 746	1 707 727	35 708	9 098 513	92.1
埼 玉	2 950 230	719 804	694 911	130 903	2 255 319	60 445	16 531 771	55.0
千 葉	3 867 617	696 787	623 886	65 617	3 243 731	112 892	32 752 636	68.2
東 京	15 138 148	2 663 160	4 226 540	207 778	10 911 608	1 397 588	596 207 956	63.3
神 奈 川	8 617 283	1 152 357	1 326 778	56 605	7 290 505	511 345	269 219 435	86.5
新 潟	5 237 020	552 716	484 776	158 131	4 752 244	53 245	18 881 230	84.1
富 山	5 243 366	245 294	256 513	50 505	4 986 853	25 171	5 908 037	52.7
石 川	1 413 399	239 348	275 448	51 862	1 137 951	48 653	15 821 779	83.7
福 山	1 210 122	193 432	194 075	40 654	1 016 047	30 160	8 622 944	94.1
山 梨	456 653	218 965	167 041	21 542	289 612	32 780	10 488 448	70.1
長 野	1 609 757	518 581	430 266	45 676	1 179 491	31 766	9 535 708	85.5
岐 阜	2 533 271	426 386	415 635	54 153	2 117 636	41 182	9 690 303	78.0
静 岡	5 295 437	732 041	728 982	99 629	4 566 455	78 968	22 433 735	57.9
愛 知	10 530 726	1 189 828	1 389 338	141 328	9 141 388	370 191	158 886 813	64.5
三 重	2 861 648	394 272	361 919	35 077	2 499 729	20 259	8 910 423	77.4
滋 賀	1 282 395	229 590	199 217	20 445	1 083 178	19 577	7 186 515	96.1
京 都	2 336 873	537 687	679 167	51 998	1 657 706	253 562	84 713 135	85.4
大 阪	12 261 041	1 660 584	2 509 957	152 772	9 751 084	624 733	381 118 113	98.5
兵 庫	9 171 824	1 130 682	1 321 131	83 361	7 850 693	442 538	164 412 212	77.2
神 戶	559 893	220 779	232 449	17 776	327 444	30 685	8 991 845	89.2
和 歌 山	1 571 828	293 741	292 507	21 618	1 279 321	39 364	12 128 255	78.0
鳥 取	310 439	138 127	125 304	9 818	185 135	17 639	4 858 439	70.4
島 根	499 486	205 722	162 617	26 317	336 869	16 012	4 142 691	74.4
岡 山	1 813 676	410 045	388 805	32 554	1 424 871	52 733	26 174 372	78.5
広 島	2 394 670	569 519	606 572	48 611	1 788 098	148 182	60 255 756	78.1
山 口	2 917 443	387 579	362 705	26 797	2 554 738	39 052	14 838 917	79.7
徳 島	643 534	207 327	161 662	17 922	481 872	30 231	7 836 298	74.8
香 川	730 621	232 374	207 376	17 055	523 245	31 832	9 314 490	72.7
愛 媛	(492 737)	376 307	300 221	(1)	(492 737)	27 743	7 373 657	53.4
高 松	3 239 571	25 006	25 006	25 006	2 939 350			
高 知	1 007 892	230 991	169 465	16 885	838 427	34 064	11 796 179	61.3
福 岡	6 552 759	891 678	937 237	64 189	5 615 522	215 574	90 236 519	67.2
佐 賀	552 915	187 450	150 943	16 317	401 972	20 959	4 369 696	81.5
長 崎	926 793	350 744	290 598	16 685	636 195	97 796	27 669 471	84.4
熊 本	1 404 808	400 528	311 451	28 217	1 093 357	58 926	17 085 782	67.5
大 宮	758 259	290 731	244 705	16 019	513 554	24 074	7 747 551	84.8
鹿 児 島	594 961	254 285	185 121	13 118	409 840	19 082	5 912 194	46.8
鹿 児 島	577 903	454 906	268 956	19 785	308 947	57 603	16 162 766	80.5

資 料 総理府統計局「昭和40年日本統計年鑑」。

第 10 章

運 輸、通 信

第10章 運輸および通信

道路、自動車

府下の産業経済の発展は人口、とりわけ昼間における流動人口の増加と、自動車輻の増加をもたらし、府下の道路交通事情は都心部では勿論、郊外においてさえもそのひびく度合は高まり、一そう深刻な状態を呈している。そのため都心部では地下鉄建設に高速道路の建設と都市交通の近代化が推進されているが、年々増大する交通量はさばき切れず、交通停滞（500m以上の渋滞車列が30分以上継続したもの）は増える一方で、昭和40年中の一日平均は80回を数えているが、11月には100回、12月には実に150回を数えるに至った。

府下における自動車は自家用小型車の普及がめざましく、これにつれて、道路事情の方も実延長は約809kmと、前年に比して3.3%（438km）の増加をみ、また舗装道路の割合も昨年の27.8%より33.4%とその割合を伸ばしてはいる。

輸送の概況

大都市への人口集中はいまや全回的傾向であるが大阪市内よりも、その周辺部での人口増が激しく、そのために居住地と通勤、通学地域を結ぶ交通機関の輸送量は急激に増え、この人口と輸送量は大体均衡のとれた推移を示しているが、特に35年から40年は、大阪市域外における人口の伸びを反映して輸送延人キロが著しく伸びている。これを大阪市内における国鉄および私鉄の各駅における乗降人員でみると、年々20万人近い増加を続けている。昭和40年中における市内所在の国鉄、私鉄駅の乗車人員は1日平均310万人と、前年より13万人、率にして4.2%の増加となっている。しかしこれは39年の伸び（16万人、5.7%）より減少している。

またこれら市内の駅は南海軌道線を除いて109駅を数えるが、このうち国鉄、阪神、阪急の集中する梅田地区が毎日82万人の降客をはき出し、大阪の表玄関としての貫ろくを示し、次いで南玄関の天王寺、阿倍野地区が32万人、続いて京橋、天満地区と、鶴橋、上本町地区が28万人、難波が15万人と、ターミナル駅か、それに準ずる乗換駅が多い。

次いで、国鉄府下各駅の旅客輸送状況は年々増加する通勤、通学客に支えられて、定期客を中心に堅調な伸びをみせた。

一方市営交通事業では最近における路面交通混雑緩和と、年々増大する交通需要を充足するため、バス路線、高速鉄道網整備によつて、路面電車の営業キロ数は年々減少し昭和41年3月末現在で82.6kmとなり、昨年の83.7kmよりさらに減少した。1日平均運転軒数は4万2,531km、乗車人員1日平均53万人、収入644万円、で乗車人員、収入とも前年の10%前後の減少となつている。これに対して高速鉄道は、昭和40年10月1日に3号線（西梅田～大田町間）4.9kmの開通により、全営業軒程は31.9kmとなり、乗客数1日平均102万人と100万台を突破、中でも梅田（23万人）、難波（13万人）、天王寺（10万人）の3駅で全乗客の半数近くを占めている。なおバスについては、トロリーバスも含めて路面電車と同様高速鉄道の建設、開通、運賃値上等により、乗車人員は約20%程度の減少をみた。

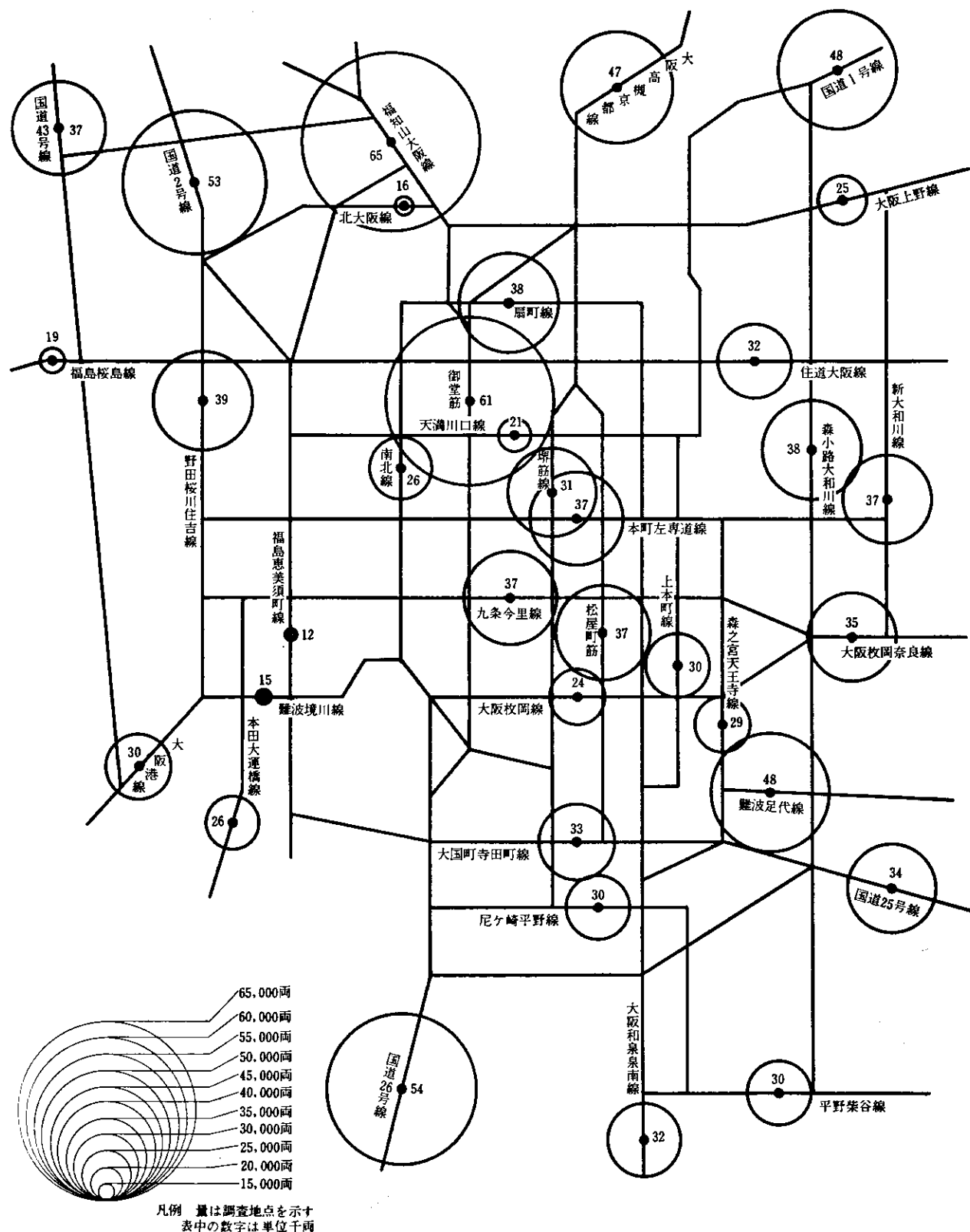
次に貨物輸送についてみると、経済界の不況による荷動き停滞と、道路輸送の目ざましい発展による影響を受けて、昨年に引続いて大巾に減少した。

電話

大阪府下における電話の普及状況は、昭和41年3月末現在で、電話局数200、加入電話数87万件となり、前年より、16局（8.7%）13万2,000件（17.9%）の増加をみた。このうち自動式でないのは、市外局での25%のみで、昨年の30%より少なくなった。

つぎに府下市町村別の普及状況をみると、大阪市が人口100人当たり17.42件でトップの座を占め、これは全国的にみると熱海市、東京都について第3位である。続いて箕面市14.54件、布施市12.98件、泉佐野市11.52件、島本町11.38件、泉大津市11.02件、守口市10.66件、四条畷町10.59件が10件以上の高い率を示し、反対に低いのは郡部の交野町（4.70件）、千早赤阪村（5.04件）で、市部では貝塚市（5.82件）、茨木市（6.94件）が低い方になっている。なお府全体では12.97件なり、これは市部が13.25件、郡部が7.89件となり、郡部の普及率がかなり低くなつているが、昨年の5.73件よりは中巾な向上となつた。

路線別自動車交通量（大阪市内）40.11.9



第1表

道 路

本表は各年度末日現在の道路、橋りよう現況総括表によつたものである。市町村道のうち町村道については幅員区分の

路線名	実 延 長			種 類 別 内 訳						幅 員	
	総 数	改 良 済 長	未 改 良 長	道路延長	橋りよう		堅(すい)道		改 良		
					橋 数	延 長	個 数	延 長	有効幅員 7.5m以上	有効幅員 5.5m以上	
昭和36年度	12 423.9	3 877.9	8 546.0	12 351.0	6 116	71.4	20	1.4	1 321.5	1 758.5	
37	12 784.8	4 294.4	8 490.4	12 710.1	6 228	73.7	19	1.0	1 428.9	1 898.3	
38	13 357.8	4 864.5	8 493.3	13 282.3	6 377	74.6	18	1.0	1 159.0	1 559.7	
39	13 371.1	4 900.1	8 471.0	13 169.0	6 658	75.8	18	1.0	1 436.6	1 544.5	
昭和40年度	13 809.0	5 563.1	8 245.9	13 736.4	6 608	71.8	27	1.4	1 242.6	1 653.7	
国府道総数	1 654.2	1 198.9	455.3	1 628.2	1 507	25.8	8	0.8	477.0	482.2	
1級国道	111.3	111.3	-	107.7	154	3.4	-	-	101.7	9.6	
2級国道	134.3	106.4	27.9	131.4	156	2.9	-	-	56.4	50.1	
主要地方道府道	572.0	456.6	115.4	561.5	564	10.5	3	0.3	225.9	175.3	
その他の府道	836.6	524.6	312.0	827.6	633	9.0	5	0.5	93.0	247.2	
主要地方道(市道)	34.2	33.7	0.5	33.4	22	0.8	-	-	33.7	-	
その他の市町村道	12 120.6	4 330.5	7 790.1	12 074.8	5 079	45.2	19	0.6	731.9	1 171.5	

資料 大阪府土木部道路課、大阪市土木局道路管理課、近畿地方建設局道路管理課。

第2表

橋 り よ

本表は各年度末日現在の道路、橋りよう現況総括表によつたものである。

路線名	総 数						鋼 橋	
	総 数		30メートル以上		30メートル未満		総 数	
	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長
昭和36年度	6 116	71 405	390	28 643	5 726	42 659	597	23 502
37	6 228	73 725	388	29 346	5 840	44 379	595	23 679
38	6 377	74 561	396	30 034	5 981	44 528	600	23 858
39	6 658	75 787	399	28 224	6 249	47 563	577	21 594
昭和40年度	6 571	71 496	398	26 416	6 173	45 080	598	20 412
国府道総数	1 509	25 468	153	14 324	1 356	11 144	216	11 187
1級国道	155	3 306	24	2 329	131	977	29	2 048
2級国道	156	2 885	15	1 756	141	1 129	24	1 287
主要地方道府道	567	10 493	61	6 339	506	4 154	87	5 324
一般府道	631	8 784	53	3 900	578	4 884	76	2 528
主要地方道(市道)	20	881	8	748	12	133	15	834
市町村道	5 042	45 147	237	11 344	4 805	33 803	367	8 391

路線名	鋼橋と石およびコンクリート橋との混合橋						木 橋	
	総 数		30メートル以上		30メートル未満		総 数	
	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長
昭和36年度	206	1 981	7	484	199	1 497	1 684	18 286
37	139	2 096	10	772	129	1 324	1 629	17 693
38	115	1 849	11	811	104	1 038	1 560	17 060
39	116	1 882	12	844	104	1 038	1 541	16 683
昭和40年度	110	1 024	11	844	99	980	1 539	15 812
国府道総数	7	495	3	423	4	72	15	119
1級国道	1	134	1	134	-	-	-	-
2級国道	1	5	-	-	1	5	-	-
主要地方道府道	-	-	-	-	-	-	6	47
一般府道	5	356	2	289	3	67	9	2
主要地方道(市道)	-	-	-	-	-	-	2	21
市町村道	103	1 329	8	421	95	908	1 522	15 672

資料 大阪府土木部道路課、大阪市土木局道路管理課、近畿地方建設局道路管理課。

概 況

相違するものがあるが分離できない。なお渡船場は外数である。名神高速道路は含まれていない。

別 内 訳	自 動 車				交通不能	路 面 別 内 訳					渡 船 場	
	未 改 良		改 良			砂 利 道	総 数	内 訳			個 数	延 長
	有効幅員 4.5m以上	有効幅員 4.5m未満	有効幅員 3.6m以上	有効幅員 3.6m未満				セメント系	高級アスファルト系	簡易アスファルト系		
798.0	478.9	1 658.2	6 409.0	4 309.3	9 840.0	2 583.9	895.9	766.7	921.3	27	3.8	
967.2	496.6	1 700.7	6 293.1	3 767.7	9 740.7	3 044.1	926.8	902.3	1 215.0	27	3.8	
1 388.1	355.6	1 293.8	6 843.8	3 700.5	9 741.4	3 616.4	1 028.2	1 137.0	1 451.2	27	3.8	
1 377.5	343.1	1 331.0	6 796.9	3 698.7	9 659.6	3 711.5	1 030.7	1 258.1	1 458.1	26	3.7	
2 194.2	586.2	1 645.9	6 013.9	3 297.2	9 201.5	4 610.2	1 000.0	1 726.3	1 883.9	
239.7	76.5	154.4	224.5	39.7	480.6	1 176.3	215.3	896.4	64.6	
-	-	-	-	-	-	121.3	38.4	75.1	7.8	
-	11.0	16.3	0.6	-	22.0	112.3	24.6	85.4	2.3	
55.4	22.3	42.0	51.2	8.7	141.8	423.0	98.3	305.4	19.3	
184.3	43.2	96.1	172.7	31.0	316.8	519.7	54.0	430.5	35.2	
-	0.5	-	-	-	-	34.2	18.1	16.1	-	
1 954.5	509.2	1 491.5	5 789.4	3 257.5	8 720.9	3 399.7	766.6	813.8	1 819.3	

う 概 況

橋	石 お よ び コ ン ク リ ー ト 橋									
	30メートル以上		30メートル未満		総 数		30メートル以上		30メートル未満	
	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長
212	17 971	385	5 531	3 538	26 832	92	5 298	3 446	21 534	
212	18 177	383	5 502	3 708	28 852	96	5 841	3 612	23 011	
215	19 041	385	4 817	4 000	30 904	102	6 204	3 898	24 700	
197	16 623	284	4 971	4 287	34 313	123	7 565	4 153	23 549	
214	15 383	384	5 029	4 249	32 861	113	6 671	4 136	26 190	
82	9 305	134	1 882	1 271	13 667	68	4 596	1 203	9 071	
17	1 824	12	224	125	1 124	6	371	119	753	
7	1 109	17	178	131	1 593	8	647	123	946	
34	4 567	53	757	474	5 122	27	1 772	447	3 350	
24	1 805	52	723	541	5 828	27	1 806	514	4 022	
8	748	7	86	3	26	-	-	3	26	
124	5 330	243	3 061	2 975	19 168	45	2 075	2 930	17 093	

橋	鋼橋と石およびコンクリート橋と木橋との混合橋									
	30メートル以上		30メートル未満		総 数		30メートル以上		30メートル未満	
	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長
78	4 810	1 606	13 476	91	804	1	83	90	721	
68	4 269	1 561	13 424	157	1 405	2	287	155	1 118	
67	3 895	1 495	13 165	100	891	1	83	99	808	
64	3 782	1 477	12 901	106	901	1	83	105	1 020	
59	3 435	1 480	12 377	75	587	1	83	74	504	
-	-	15	119	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	6	47	-	-	-	-	-	-	
-	-	9	72	-	-	-	-	-	-	
-	-	2	21	-	-	-	-	-	-	
59	3 435	1 463	12 237	75	587	1	83	74	504	

第3表

国有鉄道各駅別

本表は、鉄道統計規定に基づき資料を集計したもので、各駅での乗つき人員および新聞、雑誌扱いは含まれていない。また環状線の新今宮駅は昭和38.3.22.開業である。

Table with columns for Station Name, Passenger Volume (Total, Outside Regular, Regular, 1-day Average), and Freight Volume (Total, Hand Carried, Small Packages). Rows include Tokaido Main Line, Joze Line, Fukui Line, Sagami Line, and Sagami Main Line.

旅客運輸状況

ない。なお従来の西成線、城東線は昭和36.4.25から大阪環状線と改称されたので、過年次分は便宜組みかえて計

Table showing Passenger Transport Status with columns for Arrival/Departure (Total, Outside Regular, Regular, 1-day Average) and Revenue (Total, Outside Regular, Regular, 1-day Average). Rows include various lines and stations.

第4表

国有鉄道各駅別

貨物運輸状況

前表頭注参照のこと。

Table with 5 main columns: Station Name, Departure/Arrival, Tons, and Daily Average. It lists various stations like 東海道本線, 高根津富, 環状線, 桜島線, 片町線, 関本西線, 河内堅上, 阪和線, and 和泉砂川.

Table with 10 main columns: Station Name, Piece Count, Tons, and Revenue. It lists various stations like 東海道本線, 高根津富, 環状線, 桜島線, 片町線, 関本西線, 河内堅上, 阪和線, and 和泉砂川.

資料 日本国有鉄道関西支社審査統計室事務管理統計課。

第5表

市郡別登録

各年とも年度末現在数。但し昭和39年度総数のうち自家用営業用の計数は特種車、小型、二輪車を含むため内訳の自家用、型とはエンヂンの総排気量が360ccをこえ2,000cc以下のものを普通とはそれ以上のものとして大別される。

Table with columns for city/county (市郡別), registration year (昭和38年度, 昭和39年度, 昭和40年度), and vehicle type (ト, ラ, ッ). Includes sub-categories like 'General' (普通), 'Special' (特殊), and 'Small' (小型).

資料 大阪府陸運事務所輸送課。

第6表

旅客自動車

本表は大阪府陸運事務所の所轄にかかるもので、「一般貸切」は観光バス、「一般乗合」は路線バス、「一般複合」は、夜行長距離バス、「一般乗用」

Table showing passenger bus performance by month/year (年月) with columns for vehicle count, kilometers, personnel, and revenue. Includes sub-categories for 'General' (一般) and 'Special' (特殊).

資料 大阪府陸運事務所輸送課。

自動車数

営業用の合計とは一致しない。なお、各年共軽自動車を除く。自動車の種類は道路運送車両法に基くもので、自動車のうち小

Table showing the number of motor vehicles (自動車数) categorized by type (ク, パ, ス, 乗, 用, 車) and usage (自家用, 営業用). Includes sub-categories like 'General' (普通), 'Special' (特殊), and 'Small' (小型).

輸送実績

はハイヤー、タクシー等をいう。なおキロ当り収入の各年は月平均である。月別の数字は4捨5入してあるため年度計とは一致しないことがある。

Table showing transport performance (輸送実績) by month/year (年月) with columns for kilometers, personnel, and revenue. Includes sub-categories for 'General' (一般) and 'Special' (特殊).

第7表

大阪市内の国鉄、私

私鉄運輸部(経理部)調べによるもので各年10月中の各駅1日平均乗車人員である。

Table with columns for Station Name, Total Riders, Regular Riders, and Extra Riders, categorized by line and station.

鉄各駅の乗車人員

Table with columns for Station Name, Total Riders, Regular Riders, and Extra Riders, categorized by line and station.

第8表

大阪国際空港航空輸送量

国内線は日航、全日空、国際線は日航、キャセイパシフィック、中国民航のみの計数である。

Table showing passenger and cargo volume for domestic and international flights at Osaka International Airport from 1939 to 1940.

資料 運輸省大阪航空保安事務所。

第9表

交通公社等旅客あつ旋状況

本表は大阪鉄道管理局および天王寺管理局管下の各旅行あつ旋営業所取扱数をまとめたものである。なお、各数字は4捨5入の關係で合計数とは一致しない。

Table showing passenger volume and revenue for various travel agencies and stations from 1940 to 1941.

資料 日本国有鉄道関西支社審査統計室事務管理統計課(駅勢報告)。

第10表

市営電軌・バス事業概況

(1X2K3)は大阪市、バスは大阪市および高槻市に関するもので、いずれも各年度中のものである。なお車両数ならびに営業キロ数は各年度末在籍または現在数である。

Table with 4 main sections: 路面電車, 無軌条電車 (トローリーバス), 高速鉄道 (地下鉄), and バス. Each section contains columns for years (昭和36, 37, 38, 39, 昭和40), vehicle numbers, operating kilometers, and passenger revenue.

資料 大阪市交通局総務部企画課、高槻市交通局。

第11表

私営鉄道事業概況

大阪府内に本社を有する6社のものをまとめたもので、いずれも年度中のものである。なお車両数は各年度末現在の保有数で機関車、客車、その他を含む。

Table showing private railway business overview with columns for years (昭和36, 37, 38, 39, 昭和40), vehicle numbers, operating kilometers, and passenger revenue.

資料 各私鉄本社経理部。

第12表

私営乗合自動車

本表は大阪府内に本社を有する26会社のものをまとめたものである。車両数は年度末現在数である。なお昭和36年度は調査しなかつたので掲載出来ない。

Table showing private passenger bus business with columns for years (昭和35, 36, 37, 38, 39, 昭和40), vehicle numbers, operating kilometers, and passenger revenue.

資料 各社総務課。

第13表

大阪市内主要路線の車両交通量

本表は、主要路線について実施している交通量調査の結果で、7時~19時の12時間にわたり調査地点を通行した車両について往復の流れをそれぞれ一つとして計上したものである。なお軽車両とは自転車、荷車等のことである。

Table showing vehicle traffic volume on major routes in Osaka city, with columns for route names, survey points, and traffic volume for different vehicle types (乗用自動車, 貨物自動車, etc.) for two dates: 昭和40年11月9日 and 昭和39年9月29日.

資料 大阪府警察本部企画課 (交通量統計)

第14表

時間、回数別自動車交通停滞発生状況

交通停滞は500メートル以上の車列が30分以上にわたるものを1回とし、同一地点で2方向以上にわたって停滞したものを1回として計上してある。

Table showing traffic stoppage status by time and frequency, with columns for years (昭和38, 39, 昭和40), total counts, time intervals, and stoppage durations.

資料 大阪府警察本部。

第15表

入港船舶数

本表は各年間の数字で指定統計「港湾統計調査」によるものである。なお()内は、輸出貨物船で外数である。

Table with columns for Port Name, Total Vessels, Total Tonnage, and sub-categories for Steamships, Motorships, and Sailing Ships.

資料 大阪府土木部港湾課。

第16表

海上出入

本表は各年間の数字で、「港湾統計調査」によるものである。なお品目分類が改正された。

Table with columns for Product Category, Total In/Out, and specific port data for Osaka, Sakai, and other ports.

資料 大阪府土木部港湾課。

第17表

大阪港の乗降船客数

本表は大阪市内中央突堤、天保山棧橋および船着場(木津川、安治川)における乗降客数である。

Table showing passenger numbers for various routes (e.g., Kansai Railway, Naniwa Line) from 1936 to 1940.

資料 大阪市港湾局庶務課。(港勢一斑)

第18表 船舶数

本表は船舶統計調査規則に基く、近畿海運局管内の日本船舶に関するもので、漁船を含まない。(各年7月1日現在)。

Table showing the number of vessels and tonnage for different types of ships (steel, wood) from 1936 to 1940.

資料 近畿海運局運輸部輸送課。

貨物数量

Table showing cargo quantities (tonnage) for various ports including Sakai, Osaka, and others.

